

このように、色々な偶然や出来事があり  
いっそう勉強をしなくてはと思いを強く  
しました。又、阿部先生、書上先生他い  
ろいろの先生方に色々なことを聞き、学  
び、卒業することができました。

そして、それを土台として修行を積み  
**平成4年、晴れて文化庁より、  
刀匠承認をされ 刀匠重利**

の誕生となりました。(当時48歳)

作刀の傍ら小学校、中学校、大学等の  
タタラ製鉄の仕方の指導をしておりまし  
た、その先として鹿嶋市の小学校を対象  
にタタラ製鉄(操業)を指導をしていま  
したところ、2002年サッカーワ  
ールドカップ日本開催を記念して鹿嶋市民  
が参加できる、何か記念事業をやりたい  
との声で6,000人あまりの方々が  
参加して砂鉄を集めて、タタラ操業をし  
て鋼を作り、長さ2.5mの大直刀  
が完成いたしました。

近世以後直刀では、世界一です。現在  
は鹿嶋スタジアムのミュージアムに展示  
しております。

皆さまもどうぞ機会がありましたら見  
に行ってください。インターネットでは、  
平成の大直刀と入力すればアクセスでき  
ます。

この様な出来事があり現在の刀匠 八  
王子住 重利がある訳ですが、仕事をし、  
作品を仕上げ、同じ答えが出るには職人  
の腕と感だけではやはり無理があると思  
います。技と科学が融合して裏づけされ  
た数字を用いての物作りが必要であると思  
います。

その点金属コースで学べたことに感謝  
しております。

平成十九年一月 刀匠重利



前列 中央 重利